

## 第1分科会

話題：資源化で減量するための努力と課題 できること、やるべきこと……

参加者	自治体関係者	20名
	中間処理関係者	4名
	事業者関係者	9名
	コーディネート・書記	3名
	合計	36名

冒頭、八王子市環境部ごみ減量対策課長の八木下輝一氏から、表記の取組み実施事例の紹介として、以下の6つの点の話を行いました。

### 指定収集袋で有料化(50万人以上の都市では全国初)

有料化に際して、増車・人員増はしない方針で推進。事前説明会を約1700回位実施。  
(市の全ての管理職が対応した)

### エコショップ認定制度

簡易包装の実施、マイバッグ持参運動の推進、エコ商品の販売などに率先協力してくれる環境にやさしいお店を認定。現状は大手スーパーなどが中心。

### 集合住宅ごみ等優良排出管理認定制度

優良マークを建物・ごみ集積所などに貼り出す取組。人の入れ替わりが多く、管理が難しい集合住宅での推進。市の職員が変化を把握して定期的に更新予定。

### マイバッグ持参運動

レジ袋削減が目的。市のオリジナルバッグも製作。

### ごみゼロ社会推進協議会

15名の委員で、2ヶ月に1回の開催。市が進めている施策に、より具体的な意見をもらう市民会議。

(町内会や老人会の代表、事業者、コンビニ、学生など)

### 職員による戸別啓発運動

清掃職員が収集作業終了後の夕刻、戸別訪問し分別の徹底とごみ減量の啓発活動を実施。一日10～30軒位を訪問。H19～20:戸建、H21～:集合住宅の予定。

H19年3月にごみ減量基本計画を作成した。市の廃プラ中間処理施設の能力が充分でなく、収集対象をPETボトル・緩衝材・トレイに限定している。従って量は少なく、質は良い。今後はプラの全量回収をする計画。

参加者の多かった自治体の方々からの意見が大半で、中間処理の方、事業者の方からの発言までは、時間の制約があり、十分、確保できなかったことは反省。参加者(自治体)の方々  
の意見等は以下のとおり。

【意見交換の内容】( :質問、 :回答、 :意見)

### ごみ収集有料化について

有料化の効果は？

ごみが減って、資源が増えたと言える。つまり、廃棄物の総量は、それほど、減っていない。

将来的には資源ごみも有料化を検討している。ごみの総量を減らし、稼働率の低い焼却工場を一つ止めたいと考えている。また、バイオマス事業なども視野に入れている。

一人あたりのごみ有料化の負担は？

標準的家庭で月 500 円、年間 6000 円程度。

収入の 12 億円は、新たな施策に使う(緑の買取り基金、エコバッグなど)。

有料化は最初効果があるがリバウンドがあると聞いている。資源化の効果はあったのか？  
有料化前に比べ資源化量は 83% 増えている。集団回収が減ったとは聞いていない。

ごみは有料化とともに戸別回収としたそうだが、資源物の回収は戸別かステーションか？

市民の強い要望により、5 年の内に資源も戸別回収することを計画している。資源は無料、ゴミは有料という考え方。焼却場を 1 箇所減らしたいと考えている。燃やす物を減らし違うルートに回したい。

H17.2 月プラ(容リプラだけでなく、全部のプラを集めている)の分別収集を始めた。美化パトロールの人をお願いして、集合住宅のチェックをしている。エコショップの認定制度を始めた。リサイクル協力店制度開始 18 店舗。

人口 5 万くらい。有料化にして、回収費用としたい。H21 年度にごみ有料化を計画中。汚いものしか集まらなかったら、ランクは良くないので、プラの容器包装ということで参加した。トレイ・卵パック・ラーメンカップなどを回収している。説明会をしている。経済的にプラを別に回収して欲しい。袋を使わない方法で考えてほしい。生ゴミが 4 割位出るが、生ゴミ対策が重要なのでは。他の自治体の話も聞きたい。

## エコショップ認定制度

エコショップ認定の効果は？

検証はこれからと言った段階。リサイクルショップとの連携を重視。

## 集合住宅の対応について

集合住宅での対応の苦勞は？

学生の多い、入れ替わりの激しいワンルームマンションでのごみ排出のルールの徹底に苦勞している。外国人への対策も要注意で、主要言語でのパンフ作成も。管理人からの苦情も多く、その対応も重視。管理会社との連携も大切。

今まで汚い集合住宅が綺麗になったことはあるか？集合住宅優良認定制度で、ごみ質は良くなったか？

今はある程度管理されているところから始めている。それによって綺麗になったとはまだ聞いていない。しっかりやっているところには評価しようという試み。具体案を出していこうという計画はある。

弊市ではコンビニでの分別を 8 分別に協力要請している。八王子市には 11 万人の学生がいると聞いたが学生への教育は？コンビニや大学での指導協力要請を考えているか？

域外からの通学者も多く、域内在住の学生がどれ程いるか不詳。

学校へのアプローチはそれ程していない。大学のガイダンスのなかで、市民生活のことを言っても効果があまり期待できない。学生が作っている組織にチラシを配布したりすることもある。

## ワンルームマンションの対策

3,800カ所ステーション中 100カ所くらい汚い集積所があり、その8割くらい集合住宅で、しかもその殆どがワンルーム。管理会社に話し、改善がなければオーナーに通報したり、一緒にかたづけたりする。

集合住宅の管理人から、苦情がくる。区の対策として来年4月にむけマンションで貼れるようなステッカーを準備している。管理人を応援できる対策はないものだろうか？

米軍基地があり、米国人が3千人位常駐する。5カ国語(英語・韓国語・中国語・スペイン語・ポルトガル語)で図・絵を多用しビジュアルでわかるパンフを作成している。定住が少ないので対応に苦労する。帰国時に不法投棄がある。その時は基地の上層部に対応をお願いする。

人口規模小:5万人。日本語のマニュアルと同じような内容で、6カ国語(英語・韓国語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・タガログ語(フィリピン))のチラシを作成している。集積所は綺麗な所と管理がいき届かない所がある。集合住宅の管理会社に改善を依頼する。現場を一つずつつぶす方が、効果がある。汚い所はますます汚くなる傾向ある。

審議会では、ゴミゼロ基本計画で、有料化を検討するに至ってはいない。

## マイバック持参運動の展開について

マイバックを、ゴミの減量啓発で、配布している。啓発を重点的にやる。

「ごみ減量運動といって何を思いつくか」という質問で「マイバッグ」という回答が一番多いが、実際にマイバッグを持っている人を見かけることが少ないという印象がある。マイバッグ普及率の実態調査を計画している。又、ポイントカード支援も予定。

マイバックや、店頭回収している店、リサイクルショップをHPで紹介している。店の認定制度について、情報提供をしているが、店のメリットと、市民の衆知度はどの位なのか、それが活用されているかがわからない。

商店街でエコバックを貸して、どこで返してもいいという取組を実施中。

## その他

弊区ではレジ袋の削減運動の取り組みについて、国の方針とは若干異なり、事業者、市民、行政の協同の下で1枚5円位の区としてのルールを作っていきたいので、来年は何か計画する予定。容リプラを、可燃収集に移行する。レジ袋削減に関して、リサイクルだけでなく、根本的に減らそうという考えならば、資源も有料化すべきなのは。

生ゴミ処理機などを作っている会社。自治体の皆さんと係わるのは、垣根が高かった。生ゴミの中にプラが多く入っている。有料化する事により、生ゴミだけになれば、本当の成功といえるのでは。ただ乗り事業者を許してはいけないのでは。

プラスチック収集区分を不燃から可燃に変更した。一部のモデル地区(10%くらい)を対象に、容リプラの分別収集を実施している。すべてを焼却しているわけではない。八王子でもモデル地区を作っているのか？現在容器包装を1200t集めているが、全体では、6000tから7000t位集めなければならないだろうから、そのための費用の工面が大変。発生を減らすのは大変だと思う。

人口は145千人だが、面積が広い。平成の大合併で多くの市町村が合併した市で、もとの地域での方法がそれぞれ違うので、少しいびつな状況にある。プラ中間処理は隣市の民間会社に委託。プラの回収はモデル地区だけでやっている。ゴミはすべて委託している。何か知恵を借りられないかと思って参加した。

## まとめとして

指定収集袋の導入による「ごみ減量化」の効果には、ある程度、期待できるとの意見が多か

った。また、集合住宅での取り組み推進には、各自治体とも苦勞をしており、学生対策、管理人対策など、いろんな意見が出された。八王子の戸別啓発、エコショップ認定制度などの様々な工夫、取組みは、参考になったとの意見が多かった。  
東京都を中心に、ようやくプラの分別回収が始まった自治体も多く、さらに、容器包装プラの分別回収には至っていない自治体も多かった。

- 以上 -